



# シニア世代の読書・電子書籍に関する 意識について

～ アンケート調査結果(抄録版) ～

株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ

2010年6月

*Strictly Confidential*

# シニアの読書・電子書籍の利用意向に関する調査 エグゼクティブサマリ

## シニアの読書実態

「週1冊以上」が4割

- 回答者の84.7%は月に1冊以上本を読んでおり、その半分の41.2%は週に1冊以上のペースで本を読んでいる
- 本の入手方法については、「書店での購入」が52.6%、「図書館で借りる」が30.6%であり、「インターネットで購入」と答えた人は1.5%にとどまった
- ジャンルでは「小説」、「趣味・実用書」の人气が高く、書籍の形態としては「文庫」、「雑誌」、「新書」が多く利用されている
- およそ6割は自宅で読書をするのがもっとも多いと答えている

## 電子書籍に関して

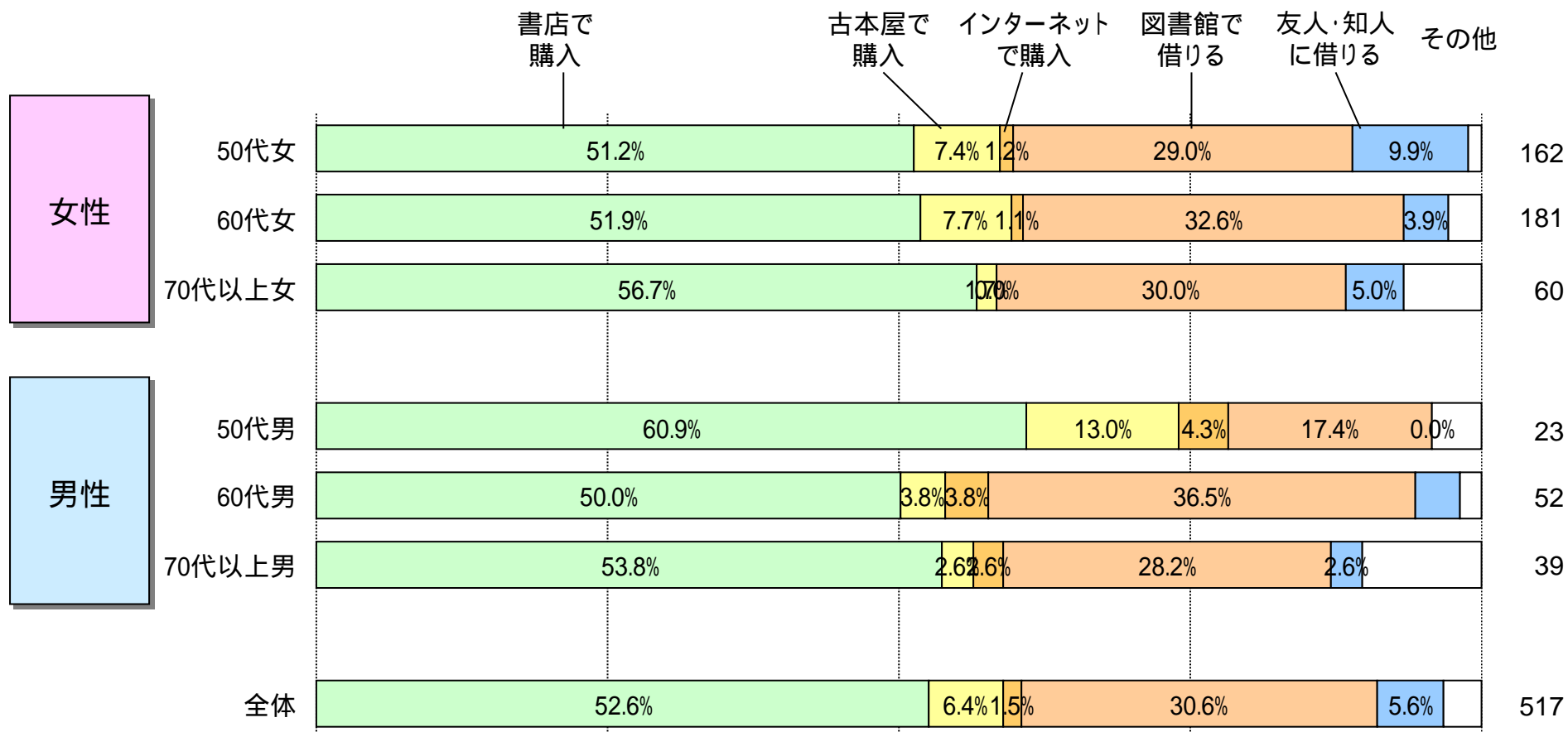
メリットは「省スペース化」  
デメリットは「目が疲れそう」

- 電子書籍/電子書籍リーダーという言葉自体は、シニアの間でも9割に認知されている
- 電子書籍やそれに類する機器の利用経験では、電子辞書の利用経験者が3～4割見られる。50歳代の男性の過半はなんらかの電子的なリーダー機器の利用経験がある
- 電子書籍のメリットとしては、省スペースの利点には期待が高い。いっぽうで携帯性や書籍の購入利便性といった部分に対する期待は、年齢があがるにつれて低くなる傾向が読み取れる
- また電子書籍に対する懸念としては、「目が疲れそう」という回答がもっとも多く、次いで操作性が複雑であることに対する不安が挙げられる
- 回答者全体の約半数が「興味がある」を含めて、電子書籍に対して前向きな意向を示しているが、男性よりも女性の方が電子書籍の利用に対して消極的な回答が多くなっている

# 本の入手方法

本の入手方法について(もっともよく利用する方法1つを選択)

(単位:%)

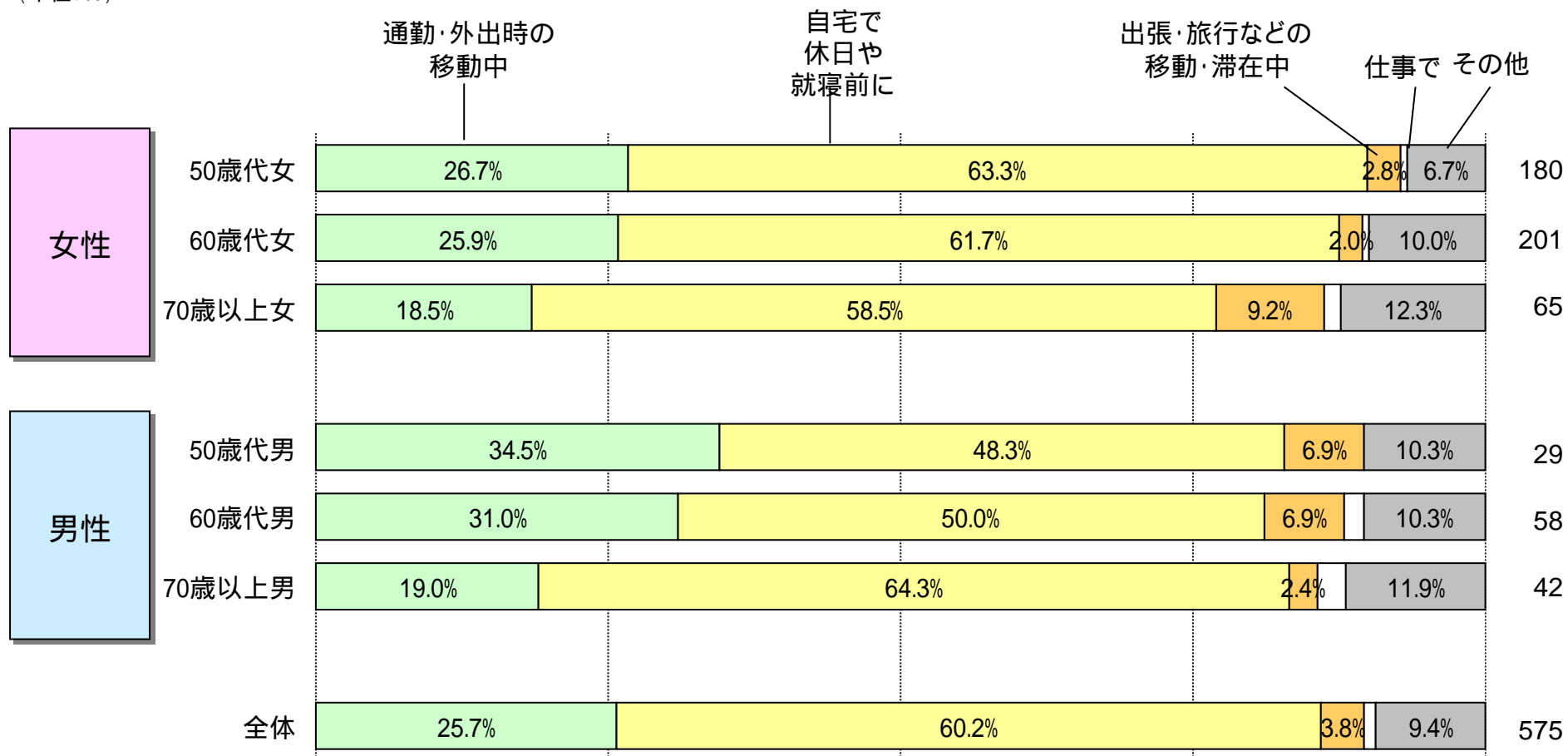


書店で購入が過半数、ネットで購入は全体の1.5%と少数派

# 本を読む場面

本を読む場面について(もっともよくあてはまるもの1つを選択)

(単位:%)

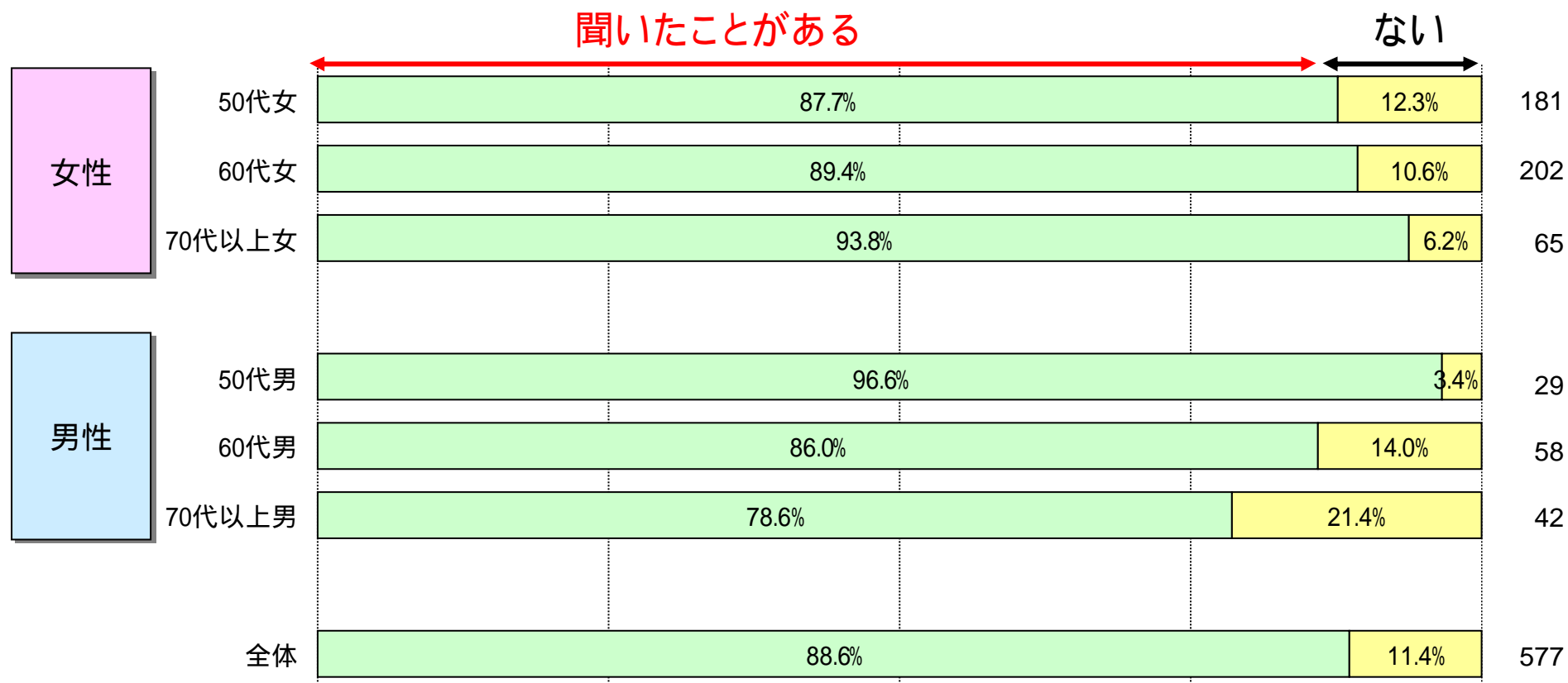


男性70歳以上と女性は自宅で読書をする人の割合が多い

# 電子書籍に対する認知度

「電子書籍」、または「電子書籍リーダー」という言葉を聞いたことがあるか？

(単位:%)

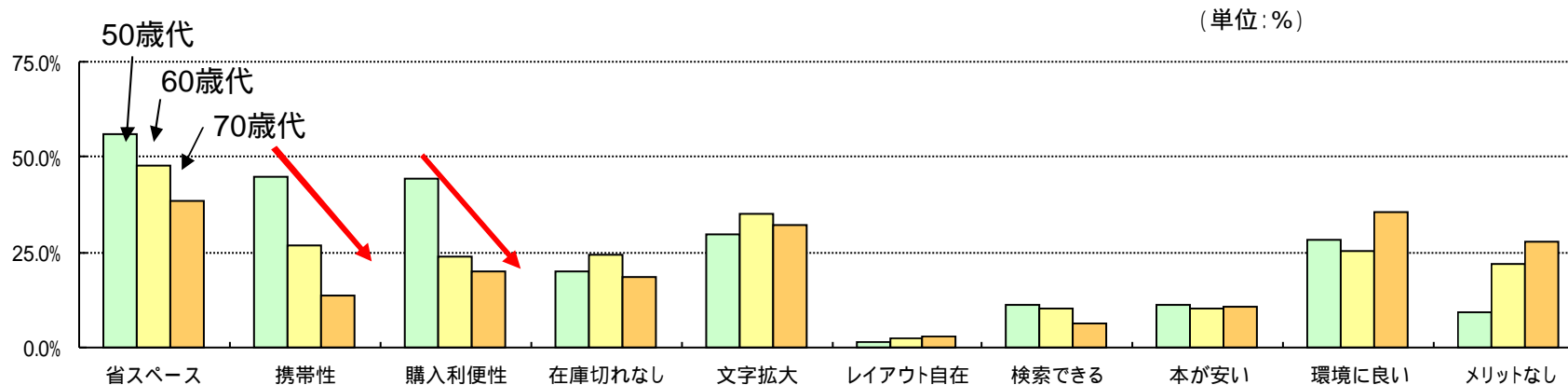


70歳代男性の認知度がやや低いが、全体としては9割に近い

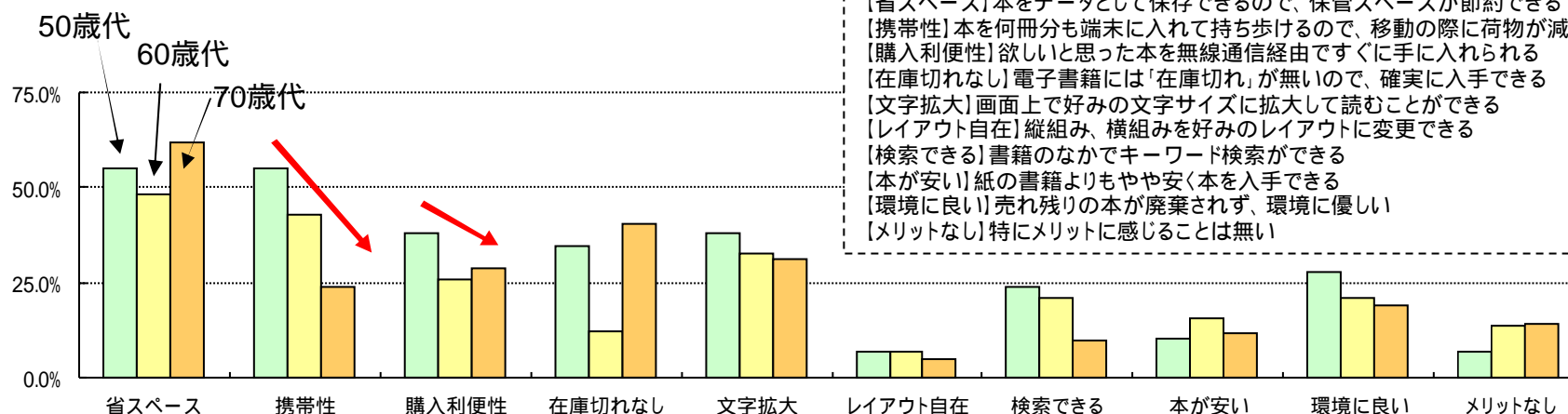
# 電子書籍のメリット(期待)

電子書籍のメリットとして認識していること(3つまで回答)

女性



男性



【省スペース】本をデータとして保存できるので、保管スペースが節約できる  
 【携帯性】本を何冊分も端末に入れて持ち歩けるので、移動の際に荷物が減る  
 【購入利便性】欲しいと思った本を無線通信経由ですぐに手に入れられる  
 【在庫切れなし】電子書籍には「在庫切れ」が無いので、確実に入手できる  
 【文字拡大】画面上で好みの文字サイズに拡大して読むことができる  
 【レイアウト自在】縦組み、横組みを好みのレイアウトに変更できる  
 【検索できる】書籍のなかでキーワード検索ができる  
 【本が安い】紙の書籍よりもやや安く本を入手できる  
 【環境に良い】売れ残りの本が廃棄されず、環境に優しい  
 【メリットなし】特にメリットに感じることは無い

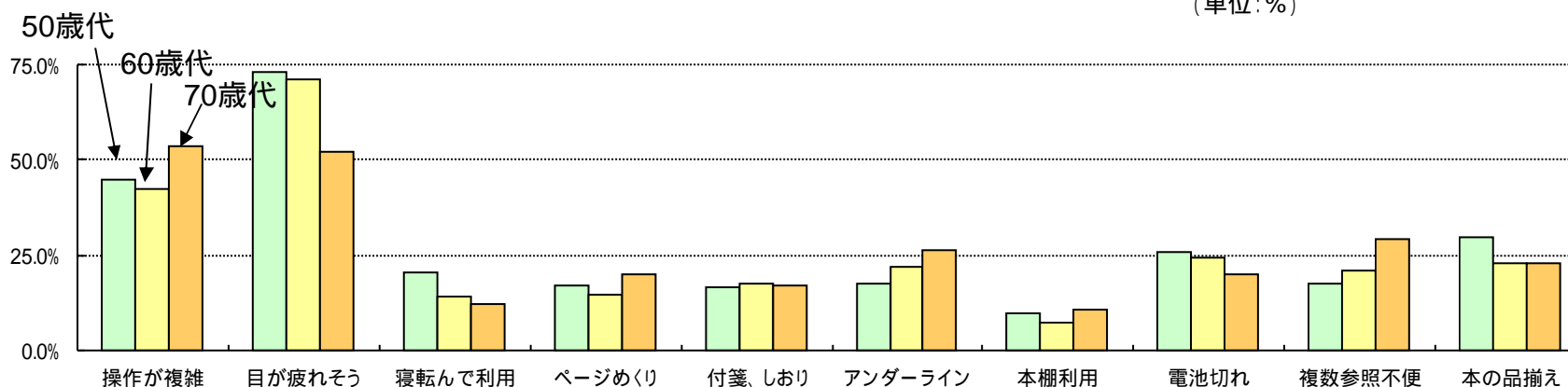
携帯性、購入利便性に対するメリット認識は年齢が上がるにつれて薄くなる傾向

# 電子書籍のデメリット(懸念)

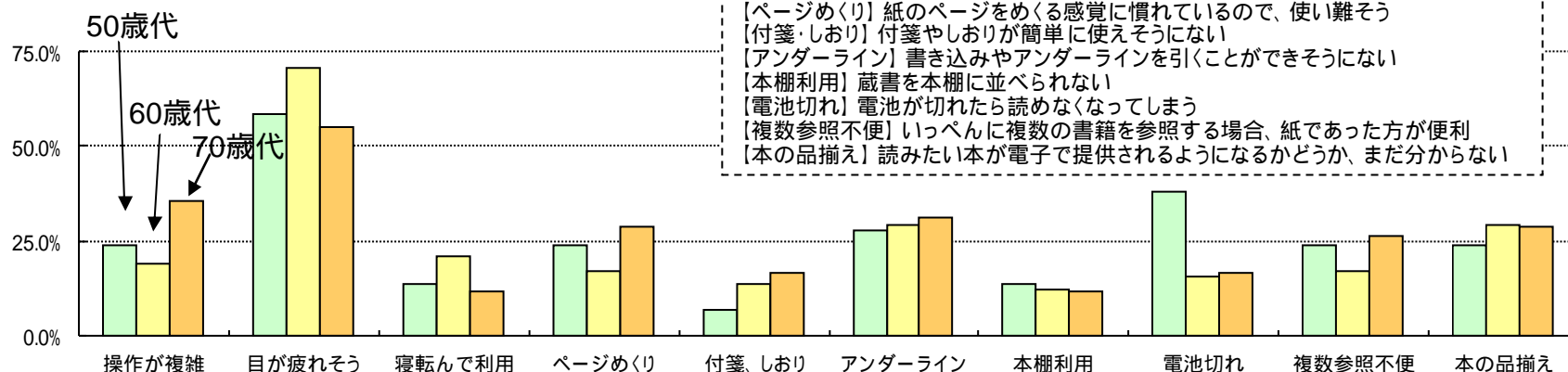
電子書籍のデメリットとして懸念していること(3つまで回答)

(単位: %)

女性



男性



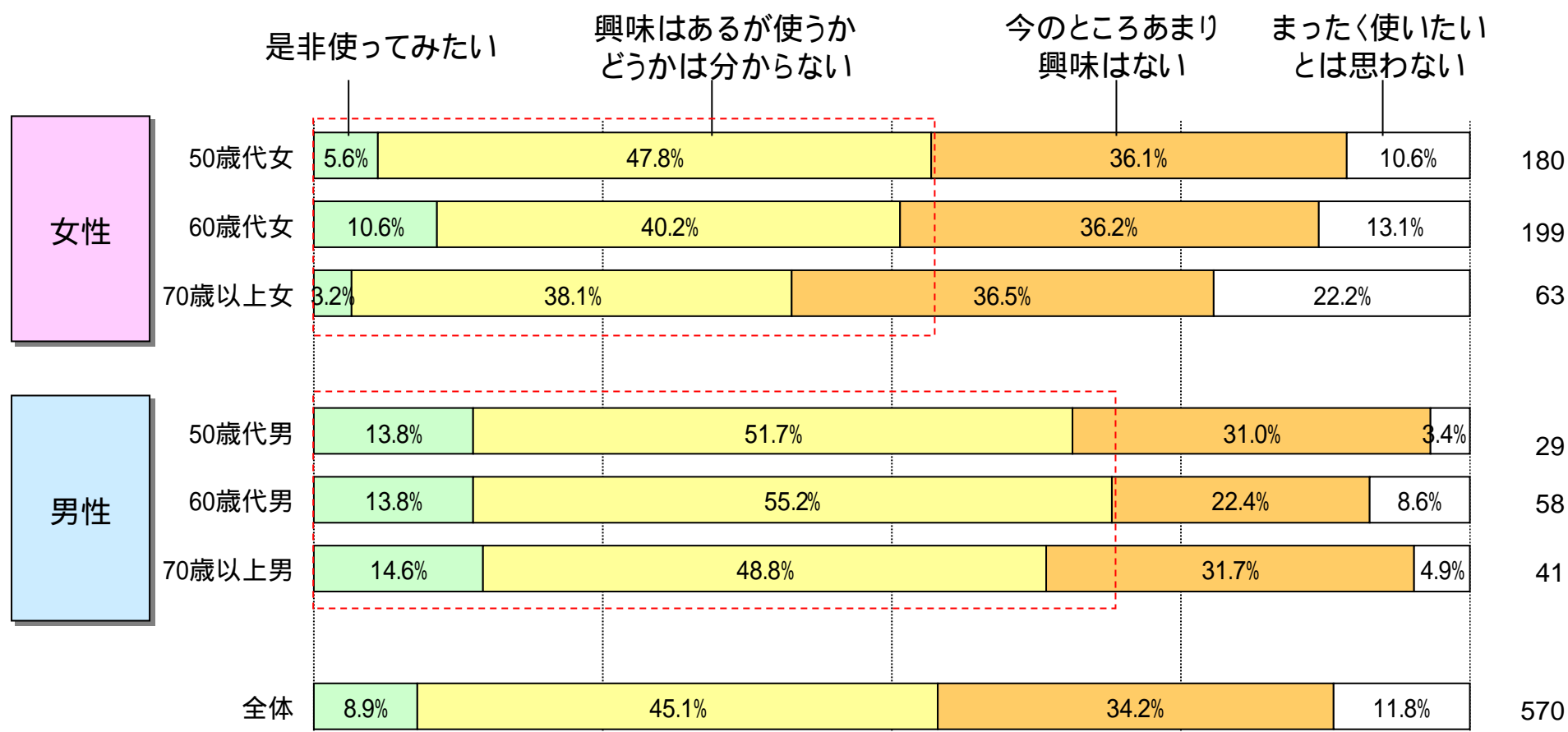
【操作が複雑】 操作が複雑そうで、使いこなせそうにない  
 【目が疲れる】 目が疲れそう  
 【寝ころんで利用】 寝転んで読むときに持ち難そう  
 【ページめくり】 紙のページをめくる感覚に慣れているので、使い難そう  
 【付箋・しおり】 付箋やしおりが簡単に使えそうにない  
 【アンダーライン】 書き込みやアンダーラインを引くことができそうにない  
 【本棚利用】 蔵書の本棚に並べられない  
 【電池切れ】 電池が切れたら読めなくなってしまう  
 【複数参照不便】 いっぺんに複数の書籍を参照する場合、紙であった方が便利  
 【本の品揃え】 読みたい本が電子で提供されるようになるかどうか、まだ分からない

「目が疲れそう」というのが懸念事項の筆頭

# 電子書籍の利用意向

電子書籍を使ってみたいか？

(単位：%)



男性の方が電子書籍の利用に前向きな回答比率が高い

## 本調査の概要

---

調査テーマ	■ 首都圏在住の50歳以上の男女を対象に、読書および電子書籍の利用意向を調査
調査方法	■ 質問票によるアンケート調査
調査期間	■ 2010年5月11日～2010年5月20日
調査票送付先	■ 首都圏在住、50歳以上の男性および女性 ■ 送付対象者数 1,550名
回答数	■ 回答者数 577名 ■ 回収率 37.2%